

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	結核予防及び各種予防接種経費	事業番号	91

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1	健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活をおくるまち	

2 事務事業の目的

目的	四種混合やBCGなどのワクチンを接種することにより、病気に対する免疫力が向上し、病気の重症化を防ぐことができる。
成果	市民生活の安定化と健康増進が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	定期予防接種委託料ほか予防接種広報等関連経費						
	28	定期予防接種委託料ほか予防接種広報等関連経費(平成28年4月より日本脳炎も定期接種化)						
	29	定期予防接種委託料ほか予防接種広報等関連経費						
	30	定期予防接種委託料ほか予防接種広報等関連経費						
	31	定期予防接種委託料ほか予防接種広報等関連経費						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		41,477	49,280	49,280	49,280	49,280	238,597
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		41,477	49,280	49,280	49,280	49,280	238,597
	人員(人工)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
職員費(人員×8,081千円)		4,041	4,041	4,041	4,041	4,041	20,205	
総事業費		45,518	53,321	53,321	53,321	53,321	258,802	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	二種混合接種率	76.4%	100%	100%
	四種混合接種率	92.5%	100%	100%
	BCG接種率	97.5%	100%	100%
	麻しん風しん接種率	93.1%	100%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

厚生労働省の定期接種に定められた予防接種を行っている。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ワクチンを接種することにより、病気の重症化を防ぐことができる。
-------------------	---------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない ワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化を防ぐことができる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である ワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化を防ぐことができる。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない ワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化を防ぐことができる。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 厚生労働省の定期接種に定められた予防接種を行っている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 厚生労働省の定期接種に定められた予防接種を行っている。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 厚生労働省の定期接種に定められた予防接種を行っている。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 接種率向上に取り組みながら、着実に事業推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する ワクチンを接種することにより、病気の重症化を防ぐことができることから、ワクチン接種の重要性を保護者等に分かりやすく説明するとともに、乳幼児健診、HPなどで引き続き接種率向上に向けて取り組む。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	保健事業経費	事業番号	92

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1	健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活をおくるまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市の健康増進計画において、死因別死亡率において悪性新生物(がん)でなくなる方が最も多く、平均寿命においても全道・全国平均よりも低いことから、集団検診等の積極的な受診を呼びかけ、疾病の早期発見、早期治療を推進する。
成果	胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの検診率が、全国・全道平均に比べ低くなっており、受診率の向上を図り、健康増進計画に記載する目標値の達成を目指す。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等健診に係る経費						
	28	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等健診に係る経費						
	29	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等健診に係る経費						
	30	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等健診に係る経費						
	31	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等健診に係る経費						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		18,073	21,832	21,832	21,832	21,832	105,401
	内訳	国庫支出金	490	625	625	625	625	2,990
		道支出金	294	489	489	489	489	2,250
		地方債						
		その他	596	1,371	1,371	1,371	1,371	6,080
		一般財源	16,693	19,347	19,347	19,347	19,347	94,081
	人員(人工)		2	2	2	2	2	
	職員費(人員×8,081千円)		16,162	16,162	16,162	16,162	16,162	80,810
	総事業費		34,235	37,994	37,994	37,994	37,994	186,211
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
活動指標	がん検診受診率(胃がん)	6.9%	30.0%	40.0%
	がん検診受診率(肺がん)	8.0%	30.0%	40.0%
	がん検診受診率(大腸がん)	7.5%	30.0%	40.0%
	がん検診受診率(子宮がん)	20.1%	40.0%	50.0%
	がん検診受診率(乳がん)	16.2%	40.0%	50.0%
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)	各健診(検診)の受診率向上を図るため、各種PRを行っている。			

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	疾病の早期発見、早期治療により、市民の健康寿命を延ばすことができる。
-------------------	------------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 平日に仕事等で病院で健診等を受けられない市民の方も、集団検診であれば土日も実施しているので受診することができる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 平日に仕事等で病院で健診等を受けられない市民の方も、集団検診であれば土日も実施しているので受診することができる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの検診率が、全国・全道平均に比べ低くなっていることから、受診率の向上を図り、早期発見・早期治療により健康寿命を延ばすことができる。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 平日に仕事等で病院で健診等を受けられない市民の方も、集団検診であれば土日も実施しているので受診することができる。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの検診率が、全国・全道平均に比べ低くなっており、受診率の向上を図るためにも、平日に仕事等で病院で健診等を受けられない市民の方も、土日の実施であれば受診する機会を得られる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 平日に仕事等で病院で健診等を受けられない市民の方も、集団検診であれば土日も実施しているので受診することができる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 制度周知に努め、着実に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する がん検診受診率が全国・全道平均に比べ低いことから、HP、フェイスブック、チラシ、健康まつり、ヘルスサポートコーナー、各施設等で引き続き積極的な広報をする。また、H28よりPSA(前立腺がん)検査を導入するなど、新規検診の導入を図る。

作成年度 平成27年度